

## 第2回（仮称）小網代大橋 有識者合同ヒアリング

### 議事録

日時：2024年3月19日（火）10:00～11:10

場所：AP 横浜 RoomH

（横浜市西区北幸 2-6-1 ONEST 横浜西口ビル 6F）

#### 出席者

		所属等	氏名（敬称略）
構 成 員	有識者	東京工業大学教授	真田 純子
		（東京農業大学名誉教授 中村 幸人）※ 書面による意見提出	
	行政職員	神奈川県県土整備局 横須賀土木事務所長	森尻 雅樹
神奈川県県土整備局 道路整備課長		向原 浩和	
三浦市都市環境部長		堀越 修一	
随行者	神奈川県県土整備局 道路整備課		西村 卓郎
	三浦市都市環境部		潟岡 元一
事務局	神奈川県県土整備局 横須賀土木事務所	工務部長	塚本 周一郎
		工務部道路都市課長	小森 慶
		工務部道路都市課	岩原 勇治 河上 守 大久保 美紅

## 【議事要旨】

### 照明について

- 調光タイプの採用が時間帯や天気の変化により自動調節ができ、常に最小限の光量で対応が可能になるのか。(中村先生)
  - 従来のナトリウム灯等に対応した自動調節のセンサーが流通しているのは確認しており、本県の管理道路でも使用実績はあるが、現状、LEDに対応している自動調節センサー等については、市販化されていないものと承知している。一方で、本箇所の照明について、実際に設置するのはしばらく先となるので、技術革新により製品化されている可能性もあり、意見については参考とさせていただきたい。(事務局)

### 環境保全措置について

- キンランとエビネの移植処置は、現在できる最良の処置と思われる。ナギランが確認された場合、移植よりも現状を維持することを優先するべきである。(中村先生)

### 再生計画について

- 先駆性低木種は、つる植物やササ類の繁茂からガードすることができる。(中村先生)
- あらかじめ有機質土壌の表土は確保しておくが良い。(中村先生)
- 植栽後の管理は恐らく最初の3～4年は雑草の駆除が必要である。(中村先生)
  - しばらく先の話になるため、後の担当者に継承していきたい。(事務局)

### 投物防止柵について

- メッシュが良い。(真田先生)

### 色彩について

- グレーベージュが良いと思う。メッシュ部はシルバー色であっても陰影でしか見えないので気にならない。シルバー色は少し明るすぎ素材の色が強すぎて何も考えずに決めた感じになる。ダークブラウンは自然が多いところでは暗すぎる。(真田先生)

### 半島上の利活用について

- 半島の自然の森の中から、橋という人工物が出現するように、人工物が自然に呑み込まれていくイメージを大切にしたい。風当りの強い半島では、風衝形の閉鎖林冠を呈し、すっぽりと森に覆われることが大事。公共工事を通して、自然を再生することを前提とした計画であって、観光拠点とすることは目的を間違えている。(中村先生)
- 独立したらせん階段のようなものは不要。(中村先生、真田先生)

- 橋台の部分に出入りできる場所を作っておけば良い。(真田先生)
- 半島先端部の眺望スペースは橋の上から見れば良いので必要ない。(中村先生、真田先生)
- 人がすれ違える程度の曲がりくねった散策路を設け、小網代の森へ繋げるのが望ましい。(中村先生)

### 眺望スペースの設置について

- 張り出し無しで良いのではないか。(真田先生)
- ベンチの設置については、供用開始後、実際の通行量等も鑑み対応すれば良い。(真田先生)

### 地域活動（植樹）について

- 地域の人たちと協力して苗を植える時に、この辺りにあるものを種からとって苗をつくることもプログラムに入れると良い。(真田先生)
- 三浦市において植樹活動は実施したことがないので、紹介のあった事例では、どういった地元の方々の協力が得られたのかご教示いただきたい。(三浦市)
  - 地元NPOがどんぐりから育てたポット苗を作成しており、提供を受けた。維持管理は、立地に適したやり方があるので、他の事例も参考にしながら企画していくとよいと思う。(横須賀土木)

### 防災について

- 能登半島地震での交通問題を受け、三浦市でも期待・関心が高まっており、西海岸線の検討を進めていただき有難いと感じている。(三浦市)

### 回遊性について

- 県には、管理者として小網代の森の管理をして頂いているところであり、利用者の客層が変わることについてどのように考えるのか、持続可能な利用について検討いただきたい。(三浦市)
  - 道路と周辺の資源がどのように関連していくのか、少し広い視野をもって検討していきたい。(横須賀土木)

### 歩道舗装について

- アスファルト舗装でも良いと思うが、半たわみ舗装とする必要性はあるのか。(道路整備課)
  - 照明の照度を抑えながら、路面の輝度を上げるためには、白色系舗装が良いのではないかと考えていたが、再考の余地はあると思う。(事務局)

- 白色系舗装だと、夏季は特にまぶしいのではないか。歩道と車道が共用の街路では、歩行空間であることを明示するために美装化する意義があると思うが、本箇所は、歩道の専用空間として造られるものなので、ここでは必要ない。夜間照明と夏の日差しのまぶしさも総合的に考える必要があるが、アスファルト舗装で良いのではないか。(真田先生)
- どちらが利用者にとって良いのか検討したい。(事務局)

以上